

遠距離介護の試行錯誤 ―テレビ電話で母をみる―

(第3回)

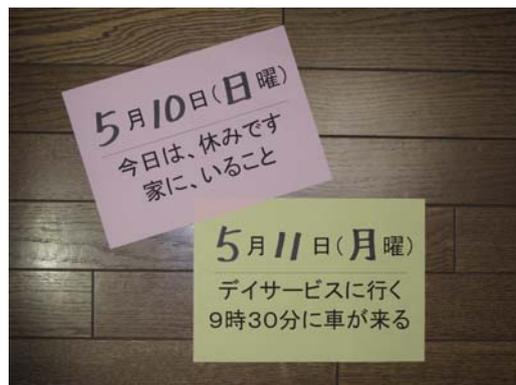
家族の会会員 長坂 寿俊

[デイサービスの回数を増やす]

週1回から始めたデイサービスも徐々に回数を増やし、2009年には週5回になりました。要介護度も1から3に上げてもらうことで、その限度枠いっぱいを使えます。そもそも認知症で月日や曜日の自覚がないため、デイのない日でも出かける準備をして外に出ることがたまにあります。そのような時は、近所を徘徊しながら、通りがかりの人に教えてもらった別のデイサービスセンターに歩いて行ってしまふことが何度かありました。

母は「デイサービスセンターは家のすぐ裏で近いから、車が来なくても歩いて行ける」と錯覚しています。それで、「平日はデイサービスに行く、9時半には迎えの車が必ず来るから勝手に出歩かず、家の中で座って待っていること、土日は休みだから家にいること」というパターンで日常生活を過ごさせることにしました。

そのため、今日が何日かを確認できるよう写真のような日めくりを作り、1~2週間分を綴じて、毎日めくりことができるようにしました。しかし、そうはうまくいきません。日に何枚もめくったり、日めくりそのものを何処かに隠してしまうことがよくあるからです。



デイサービスの回数を増やしたのは、その方が本人にとっても私にとっても楽だからです。デイに行った日は、皆で配膳の準備を手伝い、昼食を食べ、ボーリング、歌、塗り絵等のレクリエーションで遊び、おしゃべりをし、1日を楽しく有意義に過ごして帰ってきます。生活にメリハリがでます。反対にデイのない日は、何時ふらっと出かけるかわからないし、1日中母の行動が心配になります。

[普段の食事]

朝は井茶碗に牛乳を入れ電子レンジで温めて飲みます。昼と夜はご飯とおかずです。炊飯器で米を炊くことだけはできますが、肉や野菜を調理したり、みそ汁を作ったりすることは忘れてしまっています。私が週末に帰宅したときに、1~2週間分の牛乳、賞味期限の長い佃煮、煮豆、漬物等を買込み、冷蔵庫に入れておきます。また、果物が好きなので、冬はみかん、夏は八朔や夏みかんをいっぱい買っておきました。ただ、冷凍冷蔵庫については冷蔵室と冷凍室の区別がまったくわからずに物を入れるので、冷凍室のドアは開けられないようにガムテープを貼りました。介護用の宅配弁当の利用もケアマネージャーから

勧められましたが、配達の受け取りや保存に毎日対応できるか不安だったので利用はしませんでした。

[薬カレンダー]

医師から処方された薬は毎日1回朝食後に飲むことになっています。調剤薬局では毎回薬カレンダーに貼り付けてくれますが、その使い勝手が良くないので、写真のような薬カレンダーを段ボール紙で自作しました。薬がよくわかるように、電話の置いてあるタンスの後ろの壁にその薬カレンダーを画鋲で貼り付けておきます。毎朝、電話で確認しながら、その日の薬を薬カレンダーからはがさせて飲ませるわけですが、時々、数日分がないことがあります。たぶん間違えて飲んでしまったのでしょう。しかし、その件をあまりしつこく言うと、母は「誰かが家に入ってきて盗んだ、玄関のカギを替えないとだめだ」と言います。

朝、デイサービスセンターから迎えに来る時は、スタッフが家の中まで入って、テレビやエアコンのオフ、電灯の消灯まで確認してくれます。その際に壁に貼ってある薬カレンダーの薬が飲まれてない時には、スタッフをはがして持って行き、デイに着いたら飲ませてもらうことになっていました。

ところが、毎回スタッフが薬をはがしているのを見ると「薬が盗られている」と思いこんでしまうようで、薬カレンダーを隠してしまうのです。タンスの引き出しの中であったり、押入の布団の間であったり、すぐに見つかれば良いのですが、時には何ヶ月もして思わぬ所から発見できることもありました。しかし、デイにはほぼ毎日行けるようになってからは、平日の薬は全てデイで預かって管理してもらいました。したがって、写真の平日の薬は言わばダミーの薬、実は整腸剤です。それからは、薬カレンダーを壁には貼らずに電話の下のタンスの引き出しに入れて、毎日、電話で指示して飲ませることにしました。



[デイサービスからの連絡帳]

デイサービスセンターからの連絡帳には、血圧や体温等の健康チェック、レクリエーションの種類、そ



の日の様子等が書かれています。母は帰ってくると、それをルーペを使って何回でも熱心に読みます。そこに「デイで薬を飲ませました」、「少々下痢がありました」とか書かれていると、母は「薬なんか飲まされていない、薬は盗られている、デイは嘘つきだ、もうデイには行かない」などと言います。本当は家族への連絡帳なのですが、我々の場合は母が読むという前提で「母が喜ぶことだけを書く」ことをお願いしました。

つづく